

## 患者の皆様へ

2025年 月 日

泌尿器科

現在、泌尿器科では、「前立腺癌患者における予後予測因子の検討」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では前立腺癌の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。この研究にご協力いただいた場合でも、患者さんの個人情報公開されることはありません。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

前立腺癌患者における予後予測因子の検討

### 2. 研究の意義・目的

前立腺癌に対する手術療法、放射線治療、抗がん剤治療、ホルモン療法などにおいて、血清テストステロン値、PSA値、並びに、他の血液中の検査結果の推移を測定することで、どのような患者様にどのような治療方法が適しているかを検討する目的で行います。

### 3. 研究の方法

1996年1月より2024年12月までに得られたデータを対象といたします。年齢、身長・体重、病歴、薬剤名、臨床検査結果、画像検査結果、外来受診時に採取した血液検査（血算、生化学、腫瘍マーカーなど）、尿検査の結果を用いて解析いたしますので、本研究のために追加の採血、採尿検査を行うことはございません。

### 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。学会等での研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データの解析・保管は千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学教室の研究室で行われ、データは個人を特定できないように暗号化し扱い、研究代表者が厳重に保管・管理いたします。

### 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

### 6. 研究費用の負担について

この研究に係る費用は、患者さんが負担することはありません。ただし、一般診療に係る

費用は、通常通り自己負担分をお支払い頂きます。尚、研究にご協力して頂いたことに対する金銭を含めた報酬はありません。

## 7. 研究資金と利益相反

研究資金はありません。また本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等もありません。

本研究は、千葉大学を主幹機関とする多施設共同研究として実施します。それに伴い、本情報公開文書は下記の各機関でも同様に掲示を行います。

### <相談窓口>

<主幹機関の相談窓口>

施設名：千葉大学医学部附属病院泌尿器科

担当者：坂本信一（准教授）

連絡先：043-222-7171

### <研究組織>

<主幹機関及び研究代表者>

千葉大学医学部附属病院泌尿器科	坂本信一	（准教授）
-----------------	------	-------

<試料・情報の提供を行う共同研究機関及び研究責任者>

国保旭中央病院泌尿器科	黒住顕	（医長）
-------------	-----	------

君津中央病院泌尿器科	仲村和芳	（部長）
------------	------	------

済生会宇都宮病院	戸邊豊総	（部長）
----------	------	------

JCHO 東京新宿メディカルセンター泌尿器科	赤倉功一郎	（部長）
------------------------	-------	------

千葉県済生会習志野病院泌尿器科	藤村正亮	（医長）
-----------------	------	------

千葉県がんセンター泌尿器科	小丸淳	（前立腺センター部長）
---------------	-----	-------------

千葉労災病院	新井隆之	（副部長）
--------	------	-------

帝京大学ちば総合医療センター	納谷幸男	（部長）
----------------	------	------

日本赤十字深谷赤十字病院泌尿器科	千葉量人	（部長）
船橋市立医療センター泌尿器科	樋口耕介	（副部長）
松戸市立総合医療センター	武井亮憲	（医長）
横浜労災病院	永田真樹	（部長）
Chang Gung Memorial Hospital	Chung-lin Lee	（主治醫師）

### 【台湾の Chang Gung Memorial Hospital との共同研究について】

台湾の当該施設では、患者データについては個人の識別情報を削除したうえで、個人が識別できないようにされた識別コードのみを用います。収集されたデータは機密ファイルとして保管され、パスワードによってアクセスが保護され不正アクセスを防止します。国境を越えるデータの送信は、対面での受け渡しによってのみ行われます。

データの収集は長庚紀念病院（Chang Gung Memorial Hospital）の IRB（倫理審査委員会）の承認を受けて実施されています。また、個人の識別情報を削除したデータは長庚研究データベース（CGRD : Chang Gung Research Database）を通じて収集されます。こちらのデータは、ランダム化されたコードに置き換えられており、個人情報の特特定が不可能な状態にされています。データベースへの接続はオフラインのコンピュータを用いて行われデータは暗号化され、安全に保管されています。